一般貸切旅客自動車運送事業
許可申請に係る法令試験問題

令和8年10月15日

注意事項

1．試験開始時間は、１０時００分～１０時５０分です。
2．解答は問題用紙の解答欄に記入してください。
3．開始時間までは、問題は開かないでください。
4．運転免許証等は、机の上に出しておいて下さい。
5．筆記用具、自動車六法以外のものは机の上に置かないで下さい。
6．質問等のある方は、静かに手をあげて下さい。
7．不正な行為をされた場合は、直ちに受験を停止し、退場していただくこととなります。その場合、試験は不合格となります。
8．携帯電話等の電子機器の電源は切って下さい。
9．試験会場は禁煙です。
10．試験会場からの退場時は、解答用紙を裏返して他の受験者の迷惑とならないように静かに退場して下さい。

注）試験問題中「事業者」等の語句の意味は、それぞれ次のとおりとする。
○「事業者」‥‥「一般貸切旅客自動車運送事業者」
○「法律」‥‥「道路運送法」

内閣府沖縄総合事務局

一般貸切旅客自動車運送事業法令試験問題

試験日　令和8年10月15日

事業者名

氏　　名

問１．次の問題に答えなさい。文中に（　　）があるものは、あてはまる語句を記入しなさい。

１．自動車運送事業の用に供する自動車は（　　）ヶ月ごとに定期点検整備をしなければならない。

答.　3

（車両法第４８条）

２．事業者は、事業計画の変更をしようとするときは、国土交通大臣の認可を受けなければなりません。具体的に何を変更する際に認可が必要となるか、２つ記入しなさい。

答.　営業区域、営業所の位置、自動車車庫の位置及び収容能力、自動車車庫の収容能力

（道路運送法第１５条）

３．旅客運送事業者は、事業用自動車の（　　）ごとに、自動車の点検及び清掃のための施設を設けなければならない。

答.　使用の本拠

（運輸規則第４７条）

問２．次の文中のうち正しいものには○、誤っているものには×を（　）内に記入しなさい。

１．旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、事故の概要等を記録し、その記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において一年間保存しなければならない。

（　×　）　（運輸規則第２６条の２）

2．旅客自動車運送事業者は、事業報告書及び輸送実績報告書を毎年５月３１日までに管轄する運輸支局に提出しなければならない。

（　×　）　（運送事業等報告規則第２条）

3．道路運送法の目的には、公共の福祉を増進することが謳われている。

（　○　）　（道路運送法第１条）

4．一般旅客自動車運送事業の許可は、一般旅客自動車運送事業の種別ごとに受けなければならない。

（　○　）　（道路運送法第４条）

5．一般旅客自動車運送事業者は、運送約款を定め、国土交通大臣の許可を受けなければならない。

（　×　）　（道路運送法第１１条）

6．事業者は、運転者の酒気帯びの有無の確認のためにアルコール検知器を用いる必要があるが、アルコール検知器が故障してしまった場合はこの限りではない。

（　×　）　（運輸規則第２４条）

7．一般旅客自動車運送事業者は許可を受けて、その事業の管理を当該事業を管理するのに適している者へ委託することができる。

（　○　）　（道路運送法第３５条）

8．道路運送法関係法令では、事業者は旅客に対して公平かつ懇切な取扱いをしなければならないと規定されていますが、旅客以外の公衆に対する取扱いは定められていない。

（　×　）　（運輸規則第２条）

9．事業者は、旅客に対する取扱いその他運輸に関して苦情を受け付けた場合には、法令に掲げる事項を営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して一年間保存しなければならない。

（　○　）　（運輸規則第３条）

10．事業者は、天災その他やむを得ない事由がある場合でも、事業計画に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。

（　×　）　（道路運送法第１６条）

11. 「輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン」は、安全や利用者サービスの向上に意欲的に取り組んでいる貸切バス事業者が利用者に選択されることを促進することを目的としている。

(○) （輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン）

12. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、旅客自動車運送事業運輸規則に基づき業務記録を六ヶ月間保存しなければならない。

(×) （運輸規則第２５条）

13. 貸切バスが車両火災を引き起こした場合、旅客に被害がなければ事故報告は不要である。

(×) （道路運送法第２９条）

14. 旅客自動車運送事業の乗務員は、事業用自動車内で喫煙してはならない。

(○) （運輸規則第４９条）

15. 旅客自動車運送事業者は、過労の防止を十分考慮して、国土交通大臣が告示で定める基準に従って、事業用自動車の運転者の勤務時間及び乗務時間を定め、当該運転者にこれらを遵守させなければならない。

(○) （運輸規則第２１条）

問３．次の文章の（ ）にあてはまる最も適当な語句を選び、記号を記入して答えなさい。

１．事業者は、事業用自動車を（ ）しなければならない。

ア．可能な限り清潔に

イ．常に清潔に保持

ウ．運行ごとに清掃

【解答】 イ （運輸規則第４４条）

2．この法律は、貨物自動車運送事業法と相まって、道路運送事業の運営を適正か合理的なものとすることにより、道路運送の利用者の（　　）を保護するとともに道路運送の総合的な発達を図り、もって（　　）を増進する事を目的とする。

ア．所有権　　イ．利益

ウ．公共の福祉　エ．環境の保全

【解答】　イ、ウ　　（道路運送法第１条）

3．一般旅客自動車運送事業者は、運賃及び料金並びに（　　）を営業所その他の事業所において公衆に見やすいように掲示しなければならない。

ア．就業規則

イ．運送約款

ウ．運行管理規程

【解答】　イ　　（道路運送法第１２条）

4．事業者は、運賃又は料金を収受したときは、運賃又は料金の（　　）を記載した（　　）を発行しなければならない。

ア．領収証　　イ．運送引受書

ウ．計算基礎　エ．見積額

【解答】　ウ、ア　　（運輸規則第１０条）

5．運転者の連続運転時間は（　　）時間が限度である。

ア．2

イ．3

ウ．4

【解答】　ウ　　（自動車運転者の労働時間等の改善のための基準）

6．一般旅客自動車運送事業者は、旅客に対し、収受した運賃又は料金の（　　）をしてはならない。

ア．割引

イ．払戻し

ウ．割戻し

【解答】　ウ　　（道路運送法第１０条）

7．旅客自動車運送事業運輸規則は、旅客自動車運送事業の適正な運営を確保することにより、輸送の安全及び（　　）を図ることを目的とする。

ア．事業者の利便

イ．従業員の利便

ウ．旅客の利便

【解答】　ウ　　（運輸規則第１条）

8．旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者等ごとに、一定の様式の（　　）を作成し、これを当該運転者の属する営業所に備えておかなければならない。

ア．履歴書

イ．乗務員等台帳

ウ．乗務員証

【解答】　イ　　（運輸規則第３７条）

9．旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る乗務員等台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを（　　）保存しなければならない。

ア．一年間

イ．三年間

ウ．五年間

【解答】　イ　　（運輸規則第３７条）

10．一般旅客自動車運送事業の許可を受けようとする者は（　　）の懲役又は禁固の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることが無くなった日から５年を経過していなければならない。

ア．六ヶ月以上

イ．一年以上

ウ．二年以上

【解答】　イ　　（道路運送法第７条）